

令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	小城市立晴田小学校 児童数 303人	担当者名	宮崎 和代 桃崎 敏子
住所	郵便番号 845-0002 佐賀県小城市小城町畑田2099	電話番号	0952-73-3226

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	みつけよう わたしだけの 本の宝箱
	取組期間	令和4年5月9日 ~ 令和4年11月30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和4年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	303人	実施日数	174日	読書冊数	27685冊	連携した団体数	3団体
	取組内容(概要)	<p>昨年度、図書室での貸し出し目標冊数(5万冊)が達成できた。読書冊数の少ない児童の読書意欲喚起のために、今年度は貸出冊数の目標を「低学年120冊 中学年100冊 高学年80冊」とし、学年に応じた読書量を確保することを目標にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○読書の木の掲示…低・中・高学年の貸し出し冊数目標に達した児童の名前をみかんの模ったカードに記し、掲示を行うことで読書意欲の向上を図る〔資料1〕。 ○貸出冊数に応じたプラス券の配布・・・貸出冊数10冊毎に1冊貸出券を配布する。さらに、100冊毎に、プラス券綴りを配布し、読書意欲の向上を図る〔資料2〕。 ○読書の宝箱カード…読書の宝箱コーナーにある本を読破した児童に認定書を発行し、読書の質を高める。〔資料3〕 ○図書館まつり(年2回各2週間)…図書委員会主催でめりえ・しおりコンクール、読書ビンゴ、読み聞かせ会の開催、図書委員体験などに取り組む〔資料4〕。 ○教職員のおすすめの本の紹介文を掲示し、読書意欲の向上を図る。〔資料5〕 ○季節や行事、全校集会の話題にそった本の紹介…コーナーを設け、季節や行事に関連した本、「先生のお勧めの本」で取り上げられた本を紹介する。〔資料6〕 ○読み聞かせ(年7回朝の時間)を行う…地域ボランティアと育友会、幼稚園園長、教職員による読み聞かせ〔資料7〕 ○読書タイムの設定…朝の時間に読書タイム(10分程度)を設けている。〔資料8〕 ○小城市民図書館からの団体貸出(今年度は年1回)・移動図書館本丸くんを活用する(毎月)。 ○毎月発行する図書館便り・うちどくノートの活用・夏休みや冬休みや読書週間で、『うちどく』の勧めなどの家族読書への取組を推奨する〔資料9〕 ○学校便りや学級通信、全校集会での読書活動の啓発をする。 						
	工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> ○「読書の宝箱」カード <p>読書の宝箱コーナーの本の一覧が掲載されたカードを配布し、自分がどのような本を読んだのかを一目で確認できるようにすることで、目標を持って読書に取り組むことができた。</p>						

	<p>○図書館まつり</p> <p>図書委員会の児童が考えた本に関するクイズを給食時間に放送したり、図書委員体験会を開催したりした。全種類の分類番号の本を読むことを目標にした読書ビンゴを企画し、先生のお勧めの本の掲示物に分類番号を記載することにより、分類に関しても興味が持てるようにした。図書に関するぬり絵・しおりコンクールや、昼休みのお話し会開催など、多彩な催しを行った。図書委員会の児童や担任の呼び掛けで、多数の児童が参加することができ、本の楽しさを知る機会となった。</p> <p>○季節や行事、全校集会の話題にそったおすすめの本の紹介</p> <p>カウンターの前に「おすすめの本」を紹介するコーナーや、7月に「戦争・平和」コーナーを作るなどした。特に、全校集会で校長先生が紹介した本や、それに関連する日本の昔話の本を並べると、多くの児童が興味をもち、手に取っていた。</p> <p>○読み聞かせ</p> <p>高学年の児童も、集中して聞き、お話に浸っている姿が見られた。読んでもらった本を図書室で借りて読む児童が増えた。</p> <p>○読書タイムの設定</p> <p>朝の10分間を読書タイムとして設定している。児童は自分で選んだ本を静かに読んでいる。学力向上の一環として、読書をすることによって文字に慣れ、読む力を向上させるねらいももたせている。</p> <p>○小城市民図書館からの団体貸出・移動図書館本丸くん</p> <p>小城市民図書館より、2学期に1度団体貸出を受け、主に各学年の調べ学習の本の選書に重点を置いた。移動図書館本丸くんは、月に1度本校に来て児童への本の貸出をしてもらっている。5月には、1年生に向けてオリエンテーションを行い、本の魅力を伝えていただいた。</p> <p>○毎月発行している図書便り・読書カレンダーや親子読書の啓発</p> <p>新刊紹介、多読者紹介、調べ学習のステップなどの記事を載せた。調べ学習のステップでは、自分で本を探すときのコツや、索引の使い方、引用や出典等の著作権に関する説明をした。</p> <p>6月に、「うちどくノート」、長期休業前には「読書カレンダー」を配布し、『うちどく』を推奨した。また、夏休みと、11月の図書館祭りでは、図書館便りに、家族読書に挑戦に挑戦する記事を設け、家族読書をしての感想を家庭から寄せていただくことにより、家庭との連携を図った。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>読書の習慣が身に付き、85%の児童が目標冊数に達成できている。これまでの積み重ねで読書を楽しむ児童の姿がいろいろな場面で見られた。感染症対策のため、本を借りに行くことができる時間が制限されているが、図書館まつりなどのイベントを行うことで、児童が本を身近に感じ、数多く手に取り、「図書館に行きたい。」「本を読みたい。」と思えるような図書館にできるように、図書委員会の児童とともに活動した。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>今後も、図書館まつりやおすすめの本コーナーの充実など、児童が図書館に行きたいと思うような工夫をしたい。職員のおすすめの本、自主学习に使える本などを紹介したり、読み聞かせの時間を計画的に行ったりするなど、全校での取り組みを行い、読書に関する関心を高め、本を身近に感じることができるよう、今後も全校で連携して、図書館の活動を充実させていきたい。</p>

〈活動内容〉

〔資料1〕晴田っ子 読書の木・プラス券綴り

低学年120冊、中学年100冊、高学年80冊の貸出冊数を達成した児童は、みかんのカードに名前を書いて、読書の木に貼らせるようにした。



低学年の木

中学年の木

高学年の木

〔資料2〕プラス券綴り

貸出冊数10冊毎に配布した1冊貸出券。
100冊毎に配布した貸出券綴り。



1冊貸出券

100冊毎の貸出券綴り

〔資料3〕読書の宝箱コーナー・本の宝箱カード



学年に応じた
良書のリスト

本の宝箱コーナーを設け、手に取りやすくした。学年毎に目標を定め、自分の読書の足跡が一目でわかるようにした。宝箱カードに書いてある本を手にする児童が増えた。

〔資料4〕図書館祭り



図書委員体験（貸出体験）



読み聞かせ会

図書館祭りの期間を6月と11月の各2週間設定し、図書委員会の児童が企画したイベントを開催した。

図書委員体験では、体験を希望した児童の中から抽選で各日3名ずつ貸出作業の体験を行った。体験をすることにより、本を借り借りる時のマナーについて考える機会になった。読み聞かせ

会では、紙芝居の読み聞かせを行った。図書委員が読み方を工夫していたので、読み聞かせ会に参加した児童は、物語の内容を楽しみながら聞くことができた。

〔資料5〕教職員のおすすめの本紹介



図書館の南北入口の2か所に掲示するとともに、図書館便りや給食の時間の放送で紹介した。図書館祭りのクイズでも、「先生のおすすめの本」に関するクイズを出題した。数多くの児童が掲示物の前で立ち止まり、「先生のおすすめポイント」を読んでいた。「○○先生のおすすめの本はありますか。」とカウンターで尋ねる姿も見られた。

〔資料6〕 季節や行事、全校集会の話題に沿ったおすすめの本の紹介



全校集会の校長先生の話で取り上げられた「ももたろう」の本から派生して、日本の昔話や世界の昔話の本を集め、コーナーを作った。低学年だけでなく、高学年の児童も興味をもって手に取っていた。

〔資料7〕 読み聞かせ



〔資料8〕 朝の読書タイムの設定



〔資料9〕 家族読書に寄せられた声

読み終わった日 17/3 年

タイトルや作者
どろろんびょういん

自由らん
おはけやがいてつかげてきて
すっごくわかった。

本の絵を見ながら、どのおはけが、こわいのかの話をしたりして、楽しかったです。

おもしろレベル

猫のイラストと「おもしろい」「とてもおもしろい」のコメントボックス。

読み終わった日 2022年 6/14

タイトルや作者
ポポの音がく会

自由らん
きれいな音だったのでほいほいと
思いました。

時計の針が、知らぬいどうか動いてたら... そっこのをいてみたね。

おもしろレベル

猫のイラストと「おもしろい」「とてもおもしろい」のコメントボックス。

★★★家族読書★★★

3 ねん

ほんのだいめい おはげがきくの1日

じぶんのかんそう

子どもが「あおは
けた」とゆておはげ
が子どもにきさい
たところがあやま
りました。

おうちのひとのかんそう

おはげ人形とあおは
けをしよう。あおはげ
のせがいのあおはけ
だねと言いたがうさぎに
あやました。

★★★家族読書★★★

3 ねん

ほんのだいめい やねうらホテル

じぶんのかんそう

ほほかやねうらのホ
テルあそびをしてし
たりねえな1日た
てらふ、つかいたすけ
てころかあおは
け

おうちのひとのかんそう

子供に読み聞かせけ
じりおたがたあそび
しました。女の子が困
いて、いふたあそび違
かやてきてあけてくれ
るところかあおはけ
ました。

貸出総数 5月9日～11月30日まで (175日)

★全校貸出冊数・・・27,685冊

★一人当たりの貸出冊数・・・91.7冊

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、図書館に本を借りに行くことができる時間を制限していることもあり、貸出冊数の増え方は緩やかだが、できる取組を行っていくことで、図書館に行く楽しさ、読書の素晴らしさを感じている。



距離を取りながらカウンターに並ぶ様子

各学年における目標達成状況

学年	達成目標 (冊)	1人当たりの達成数 (冊)	達成率 (%)
1年	120	73.5	61.3
2年	120	100	83.3
3年	100	81.6	81.6
4年	100	106.6	107
5年	80	98.4	123
6年	80	85.7	107

11月30日現在